



れた風光明媚な自然、歴史的な
化遺産に囲まれた「平和で、人
と緑が輝くむら」として知られ
ています。

都市的な街並みを形成する中部圏域の中でも、緑に恵ま
生しました。

に属した12行政区が分離して、新たに「北中城村」として誕
したことから、昭和21年(1946年)5月20日、中城村の北側
設によって村が南北に分断され、行政の執行に支障をきた
きました。去った第二次世界大戦において、占領軍の施
北中城村は、かつて中城の一部として永い歴史を歩ん



喜舎場・仲順 歴史と文化の散歩道

北中城 見どころ 17

《あやかりの杜》
Tel.098-983-8060
http://www.ayakari.jp
〒901-2311 沖縄県北中城村字喜舎場1214番地

《世界遺産国指定史跡 中城城跡》
Tel.098-935-5719
http://www.nakagajuku.jp
〒901-2314 沖縄県北中城村字大城503番地

《北中城村役場 企画振興課》
Tel.098-935-2233
http://www.vill.kitanakagusuku.lg.jp
〒901-2392 沖縄県北中城村喜舎場426-2

《中城自動車道》那覇I.C.→北中城I.C.→県道81号線→国道330号線→
村道仲順・屋宜原線(約15分)
※「あやかりの杜(生涯学習複合施設)」を目指すと便利です

《一般道》那覇空港→国道58号線→国道330号線→村道仲順・屋宜原線(約45分)



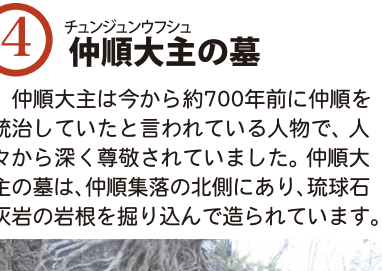
喜舎場・仲順 歴史と文化の散歩道



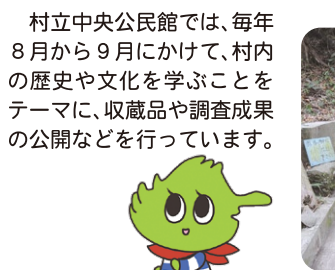
喜舎場・仲順 歴史と文化の散歩道



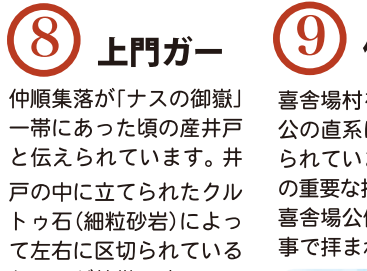
仲順ビジュアルは、かつて花崎門中の
女性司祭者により、旧暦の9月9日
に例祭が行われていました。以前は
ウガンモー(現在のE.Mホテル付近)
に所在していましたが、道路建設な
どにより「ナスの御嶽」の西側に移
設されています。



仲順地区の村井戸として利用されてい
ました。戦前まではお宮の例祭で拝ま
れており、戦後の一時期までは正月の
若水が汲まれていました。



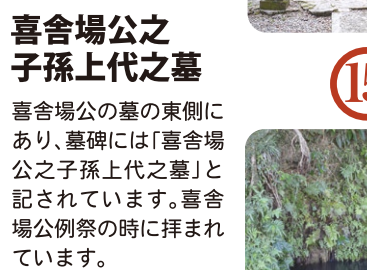
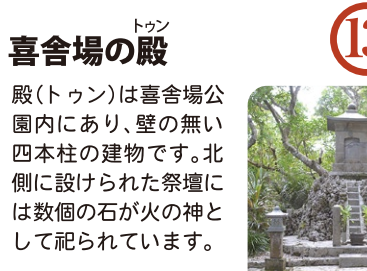
仲順の「お宮」一帯は、根殿の杜と呼
ばれ、現在は公園として整備されてい
ます。また、同地は仲順原遺物散布地
となっており、グスク時代(約800～
500年前)の土器や白磁が採集されて
います。



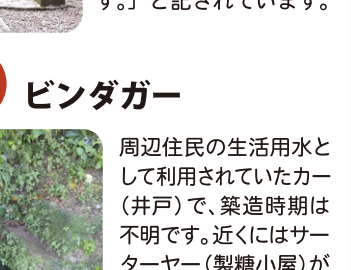
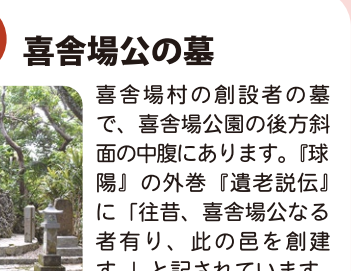
仲間神屋の西側にある拝所です。普天
満宮への還拝所といわれていますが、
拝所の名称やどのような意味でここ
から還拝するかなどの詳細は未だ分か
っていません。



喜舎場公園内にある琉球石灰岩で造ら
れた石獅子です。以前は、集落の南
西側の俗称ビンダマーチャーから安谷
屋の北側にあった「カニサン」と呼ば
れていた大きな岩山に向かって据えら
れていました。

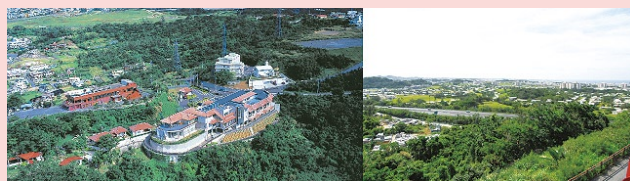


喜舎場公民館近くにあるカー(井戸)。
子どもが生まれた時には産水として、
旧正月には若水として利用されていま
して、旧暦の5月15日(ウマチー)には
集落内の各門中で拝まれていました。



龕(ガン)と呼ばれる棺を墓まで運ぶ
朱塗りの輿を保管していた建造物。
屋根は二枚の石をアーチ型に組み合
わせ、内壁や外壁にはあいかた積み
や布積みが用いられています。

——あやかりの杜



あやかりの杜 図書館、体験・学習機能、
宿泊施設、野外活動広場
などが利用できる施設。

喜舎場・仲順地区は、沖縄や地域の歴史文化を散策できるだけでなく、斜面緑地や集落の背景となる丘陵緑地といった豊かな自然環境や景観を残しております。また、中城湾や西海岸を見下ろすビューポイント等も数多く存在し、訪れる人々の心を癒してくれます。

北中城 見どころ 17

《散策距離：4.0km / 所要時間 80 分》

【凡例】  コースルート

① 見どころ

 **お手洗い**

 駐車場

 食事のできるところ

琉球歌劇「仲順流り」発祥の地「仲順地区」



旧益間近になると、ここかしこから「仲順流り」の歌が聞こえてきます。この歌は、仲順地区(シマ)を立ち上げた仲順大主にまつわる話を題材に祖霊供養の歌として作られました。「仲順の教えは数々あるが、ありがたいお囃子も数え切れぬほどにある。仲順大主は果報な者で、三人の子どもに恵まれた…。」亡くなった親を想う気持ちを、先祖の敬う心に重ねたエイサー節です。現在では、最もメジャーなエイサー曲のひとつとして知られています。

また、仲順地区には、地域の統治者となった『仲順大主の墓』や『琉球国由来記』で伝えられる「ナスツカサ御イベ」が祀られている『ナスの御獄』など、沖縄の古き歴史を知る遺産が点在しています。

北中城村の中央部に位置し、役場や小学校、幼稚園などの公共施設、観光客が多く宿泊するホテルなどが集中しており、文字通り、北中城村の中心地となっております。

琉球史料「球陽」によると、喜舎場公によりシマ(村)が立ち上がり、この地域の住民は、喜舎場公の直系にあたる仲間家を喜舎場公

の根所として崇めております。旧暦9月18日には、字行事として、喜舎場公例祭を行っております。

喜舎場地域には、喜舎場公にまつわる遺産のほか、カー(井戸)やガンヤー(竈屋)など、沖縄の古き風習や暮らしを垣間見ることができます。

